

講義名	方法	学年	学期	単位	担当教員
東洋医学臨床論Ⅱ	講義	2	前期	1	柳岡 比登美

授業概要	スポーツ疾患特有の原因・症状・鑑別により病態を把握し、鍼灸での対応法を習得する
到達目標	スポーツ疾患について、所見より考察し、治療計画を確立できることを目標とする
成績評価	期末考査(学科試験)100%で評価します
実務経験	現在の鍼灸臨床においてはスポーツ疾患への対応が必要不可欠となっている。スポーツ疾患に対し、臨床実績と治療経験にくわえ現代医学的観点を踏まえた問題解決法を総合的に教授する

前期	講義内容
1	オリエンテーション／スポーツ障害の基礎(外傷と障害、RICE処置、JCS)
2	突き指、肉離れ、脱臼、捻挫(頸椎むち打ち症・足関節かえし)、疲労骨折
3	頸部(頸椎症、頸椎神経根障害、斜角筋症候群)
4	肩部①(野球肩、腱板炎、インピンジメント症候群、肩峰下滑液包炎、五十肩)
5	肩部②(上腕二頭筋腱炎、過外転症候群、水泳肩、リトルリーグ肩)
6	肘関節(野球肘、テニス肘)
7	手関節(狭窄性腱鞘炎、三角線維軟骨複合体損傷)
8	腰部①(筋筋膜性腰痛症、腰椎神経根障害)
9	腰部②(腰椎椎間板ヘルニア、腰椎分離症・すべり症)
10	股関節(先天性股関節脱臼、変形性股関節症、梨状筋症候群)
11	膝部①(ランナー膝、ジャンパー膝、オスグッド・シュラッター病、鷲足炎)
12	膝部②(側副靭帯損傷、十字靭帯損傷、半月板損傷)
13	下腿部(シンスプリント、コンパートメント症候群)
14	足部(フットボーラーズアングル、アキレス腱炎、足底筋膜炎、シーバー病)
15	スポーツ障害の復習と期末対策
16	期末考査

使用教材	東洋医学臨床論〈はりきゅう編〉/随時資料配布いたします
------	-----------------------------